

小学校 第5学年 国語科学習指導略案

1 単元名 同じ読み方の漢字

2 単元の目標 同訓異字、同音異字語について知り、言葉や漢字への興味を深めることができる。

3 本時の指導 (本時2/2)

- (1) ねらい 同音異義語について知り、興味をもって同じ音をもつ熟語を探そうとすることができる。 (関心・意欲・態度)
同音異義語の意味を調べたり、適切な言葉を選んだりすることができる。 (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

(2) 研究主題「一人一人の実態に応じた適切な指導のあり方の追求」との関連

①「分かる授業」を展開するための工夫

ア 既習した学習を振り返る際、児童が意欲的に活動できるよう、インターネットの動画を使って復習する。

イ 習ったことを黒板に提示しておき、確認しながら学習に取り組めるようにしておく。

②一人一人のつまづきや支援ニーズに応じた適切な手立ての工夫

ア 同じ音の熟語を選べない児童には、ヒントカードを使って支援する。

(3) 展開

◎人権教育上の視点 ○研究主題との関連

学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 点	評 価
1 本時の学習課題を確認する。 同じ音をもつ熟語を調べよう。	10	○「d-book」を使って前時の学習を振り返る。 ・訓読みと同じように音読みにも同じ音をもつものがあり、熟語にも同じ音で意味の違うものがあることに気付かせる。	
2 教科書の例文の熟語に線を引き、意味を調べる。	10	・グループで相談しながら考える。	
3 国語辞典を使って同じ音をもつ熟語を調べたり、選んだりする。	12	◎机間指導を行いながら、学習状況を把握する。 ○ヒントカードを渡して、課題に取り組めるようにする。	・同じ音をもつ熟語を探そうとしている。 [関心・意欲・態度] (観察・ワークシート・発表)
4 調べたことを発表する。	5	・不安なく発表できるよう声をかける。	・同じ音をもつ熟語の意味を調べたり、適切に選んだりしている。
5 学習のまとめをする。	8	・同じ音の熟語カルタを作って、児童が抵抗なくまとめができるようにする。 ・視覚的にも確認できるように、「d-book」を使用して読み札と答えを映す。	[伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項] (観察・ワークシート・発表)